

高反射率塗料によるヒートアイランド現象の低減効果の検証



酒井 孝司
Koji Sakai

理工学部 建築学科 建築環境工学研究室
School of Science and Technology, Department of Architecture
<http://www.isc.meiji.ac.jp/~environ/>

研究目的	ヒートアイランド現象の低減，省エネルギー。
研究内容	太陽熱高反射塗料の日射反射性能を測定する方法の開発を行っている。また，実際の建物に塗料を適用した場合のヒートアイランド現象の低減効果，省エネルギー効果の試算を行う。
用途	環境共生建築，建築設計
関係論文	①村田泰孝，酒井孝司，他：高反射率塗料を塗布した水平面の日射反射率測定に関する研究，日本建築学会環境系論文集，vol.73, No.632, pp.1209-1215, 2008.10
キーワード	クールルーフ，ヒートアイランド対策，高反射率塗料



●お問合せ先●

明治大学 研究推進部 生田研究知財事務室

TEL: 044-934-7639 E-mail: tlo-ikuta@mics.meiji.ac.jp

2014年6月改訂